

どきん

2023年1月発行

3学期が始まって2週間が経過しました。元郷中生の皆さんは、この冬休みどのように過ごしたでしょうか。少しでも本に触れる時間はあったでしょうか。2023年も「図書委員おすすめの本紹介」のコーナーを図書便りに掲載しますので、ぜひ図書室に来て、本を手にとってみてください。

特別企画



ホントに当たる?!



「よみくじ」

期間：1月12日 ～ なくなり次第終了!!

よみくじBOXの中からくじを引いて、そのくじに書いてある本をとって読もう!
何の本が書いてあるのか、何吉なのかはとってからの楽しみ!
ぜひ図書室に来てよみくじを引いてみてください!



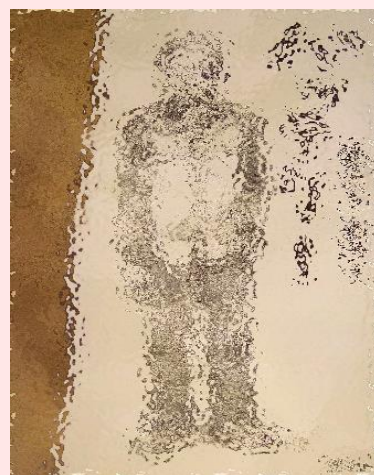
よみくじ残りわずか!
図書室へ急げ!!

～図書委員おすすめ本紹介～

① 『バッテリー』 あさの あつこ/著

主人公・原田巧の中学入学を前に、祖父のいる岡山県新田市に引っ越してきて来た原田一家。そこで巧はキャッチャーの永倉豪と出会い、互いに実力を認めてバッテリーを組むことになる。ピッチャーとして絶対の自信をもち、誰に対しても強烈な我を通そうとする巧と、その才能に戸惑いながらも強く魅かれていく豪。運命に導かれたかのように、最高のバッテリーとして二人の物語が始まっていく。

僕もこの二人のように仲間たちとバスケで熱くなりたいです。



② 『5分後に意外な結末』 桃戸 ハル/著

1話が約5分で読めるところがおすすめです。昼休みなど、すき間時間に簡単に読めること。そして笑えるストーリー、感動するストーリー、ゾッとするようなストーリーなど様々なストーリーがあること。5分後に読み終わったときにどうなるのか、予想しながら読んでみると面白いかもしれません。



③ 『本を守ろうとする猫の話』 夏川 草介/著

高校生の夏木林太郎は書店を経営する祖父と暮らしていた。その祖父が亡くなり、本の整理をしていたとき一匹の不思議なトラ猫と出会う。本をめぐる冒険が始まった。

「ただがむしゃらに本を読めば、その分だけ見える世界が広がるわけではない。どれほど多くの知識を詰め込んでも、お前が自分の頭で考え、自分の足で歩かなければ、すべては空虚な借り物でしかないんだよ。」

この本の主人公や各章の登場人物のセリフ一つ一つが今の本事情を表しているなと感じました。また読み返したいと思える一冊になりました。

